



2017年2月23日
株式会社リクルートライフスタイル

職場の飲み会に対する期待と参加実態を調査

「ポジティブ」なイメージが優勢、主要な飲み会の参加率は8割以上！
期待することは「コミュニケーション」
女性は「個人では行けない店、料理」「経費での実施」に期待が高い

株式会社リクルートライフスタイル（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：浅野 健）の外食市場に関する調査・研究機関「ホットペッパーグルメ外食総研」（<https://www.hotpepper.jp/ggs/>）は、職場の飲み会についてのアンケートを実施しましたので、その結果を発表いたします。

<要約>

POINT① 職場の飲み会、ポジティブなイメージがネガティブをやや上回る . . . P3-4

- 職場の飲み会に対するポジティブなイメージ1位は「普段会話しない人と会話できる」。ネガティブなイメージ1位は「気を遣い、くつろげない」。参加同士のコミュニケーションを意識し、気を遣わせすぎず、いかにくつろげるようにするか、が職場の飲み会の満足度を高めるポイントかもしれない。
- 男性全年代、女性40代～60代でポジティブなイメージが優勢。

POINT② 期待すること1位は「コミュニケーション」。女性は男性に比べ「個人では行けないような店、料理」「経費での実施」に期待する人多い . . . P5

- 職場の飲み会に期待することの1位は「コミュニケーションの場（50.7%）」、2位「個人では行けないような店、料理を味わう（30.0%）」、3位「会社や職場の経費での実施（23.1%）」。
- 女性は全年代で「個人では行けないような店、料理」「経費での実施」のスコアが男性を上回る。

POINT③ 職場の飲み会の中で「忘年会」が実施割合、参加割合、今後の参加意向の3冠を達成 . . . P6-8

- 主要な職場の飲み会において「忘年会」が過去1年の実施実績（60.6%）、参加実績（51.1%）、今後の参加意向（41.2%）とそれぞれ割合が最多。
- 出席率（参加実績／実施実績）では、「不定期で、これといった理由のない飲み会」が最多（86.5%）。主要な職場の飲み会はおおむね80%台の高い出席率。

【本件に関するお問い合わせ先】
<https://www.recruit-lifestyle.co.jp/support/press>

調査概要と回答者プロフィール

- ◎調査名 外食市場調査(2016年12月分)
- ◎調査方法 インターネットによる調査
首都圏、関西圏、東海圏における、夕方以降の外食および中食のマーケット規模を把握することを目的に実施した調査(外食マーケット基礎調査)の中で、職場メンバーとの飲み会のイメージや期待すること、この1年間の職場の飲み会の実施・参加状況、今後の参加意向などを聴取。
- ◎調査対象 首都圏(東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県)、関西圏(大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県)、東海圏(愛知県、岐阜県、三重県)に住む20~69歳の男女(株式会社マクロミルの登録モニター)

■事前調査

- ①調査目的 本調査の協力者を募集するために実施
- ②調査時期 2016年11月22日(火)~2016年11月30日(水)
- ③調査対象 首都圏、関西圏、東海圏に住む20~69歳の男女(株式会社マクロミルの登録モニター)
- ④調査内容 本調査への協力意向、普段の外食頻度、普段の中食頻度
- ⑤配信数 349,831 件
- ⑥回収数 36,921 件
- ⑦本調査対象者数 16,731 件

- ◆本調査対象者の割付について
 - ・本調査では、回答者の偏りをできるだけなくすために、割付をおこなって回収した。
 - ・性年代別10区分×地域別25区分(首都圏地域13区分、関西圏地域8区分、東海圏地域4区分)=250セル について、平成26年人口推計(総務省)に基づき割付をおこなった。
 - ・本調査の目標回収数は、首都圏4,000s、関西圏2,000s、東海圏2,000s、合計8,000sとした。

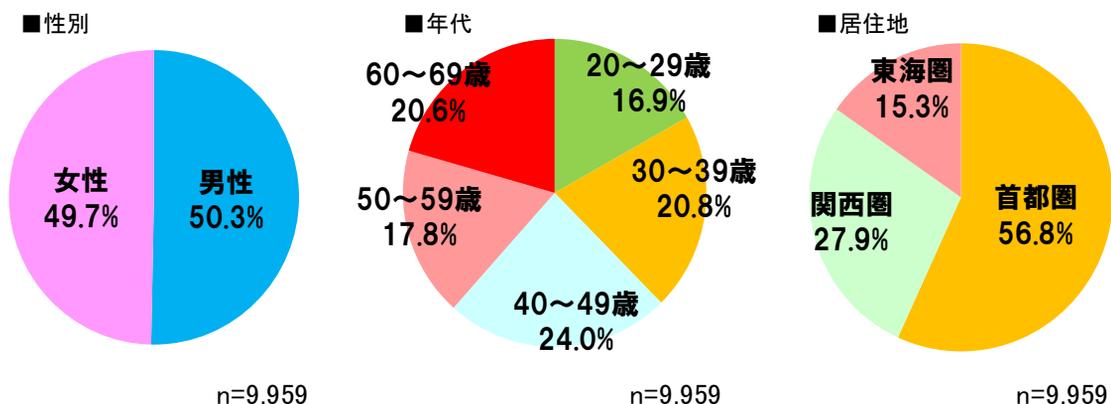
■本調査

- ①調査方法 ・事前調査で本調査への協力意向が得られたモニターの中から、脱落率を加味して設定した必要数をランダムに抽出し、本調査の案内メールを通知。
- ②調査期間 2017年1月5日(木)~2017年1月11日(水)
- ③配信数 13,265 件
- ④回収数 10,053 件 (回収率 75.8 %)
- ⑤有効回答数 9,959 件 (首都圏 4,989 件、関西圏 2,631 件、東海圏 2,339 件)

※回収された票のうち、自由回答コメントから、主旨に合わないと思われる票を無効としたほか、事前調査時の普段の外食・中食頻度の回答と、本調査時の1カ月間の外食・中食回数が著しく乖離している場合、事前調査時の住所と、本調査時の住所が、圏域を越えて変わっている場合を無効とした。

- ◆集計方法について
 - ・本調査結果は、平成26年人口推計(総務省)における割付(性年代別10区分×地域別25区分=250セル)別の構成比に合わせてサンプル数を補正したウェイトバック集計をおこなっている。
 - ・補正後のサンプル数は次の通り。
3圏域・計 9,959 件(首都圏: 5,659 件、関西圏: 2,776 件、東海圏: 1,524 件)

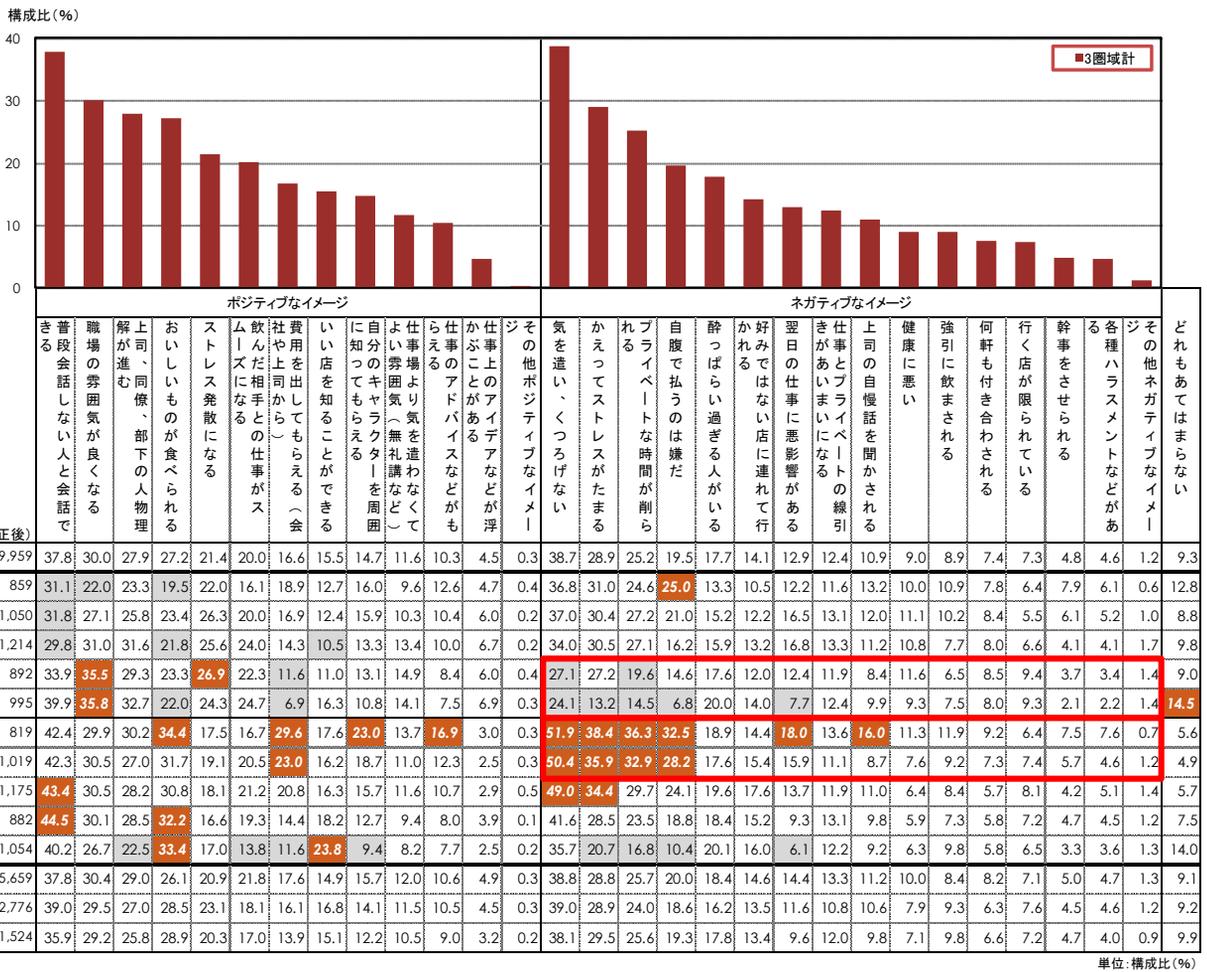
◆回答者プロフィール(ウェイトバック後)



1. 職場の飲み会、ポジティブなイメージ1位は「普段会話しない人と会話できる」。ネガティブなイメージ1位は「気を遣い、くつろげない」

忘新年会や歓送迎会など職場の飲み会のイメージと参加実態をアンケート調査し、全体（非就業者も含む）に職場の飲み会のイメージを聞いた。ポジティブなイメージとしては「普段会話しない人と会話できる」が最多の37.8%、逆にネガティブなイメージとしては「気を遣い、くつろげない」が最多の38.7%を獲得した。ポジティブなイメージの2位は「職場の雰囲気良くなる（30.0%）」、3位は「上司、同僚、部下の人物理解が進む（27.9%）」が続く。ネガティブなイメージでは「かえってストレスがたまる（28.9%）」、「プライベートな時間が削られる（25.2%）」が2位・3位に続いた。男性50代・60代ではネガティブイメージの数値が比較的低めで、逆に女性20代・30代では、ネガティブイメージの数値が高めに出ている。

■ 職場のメンバーとの飲み会についてのイメージ（全体／複数回答）



太字 3圏域計より5ポイント以上高い項目

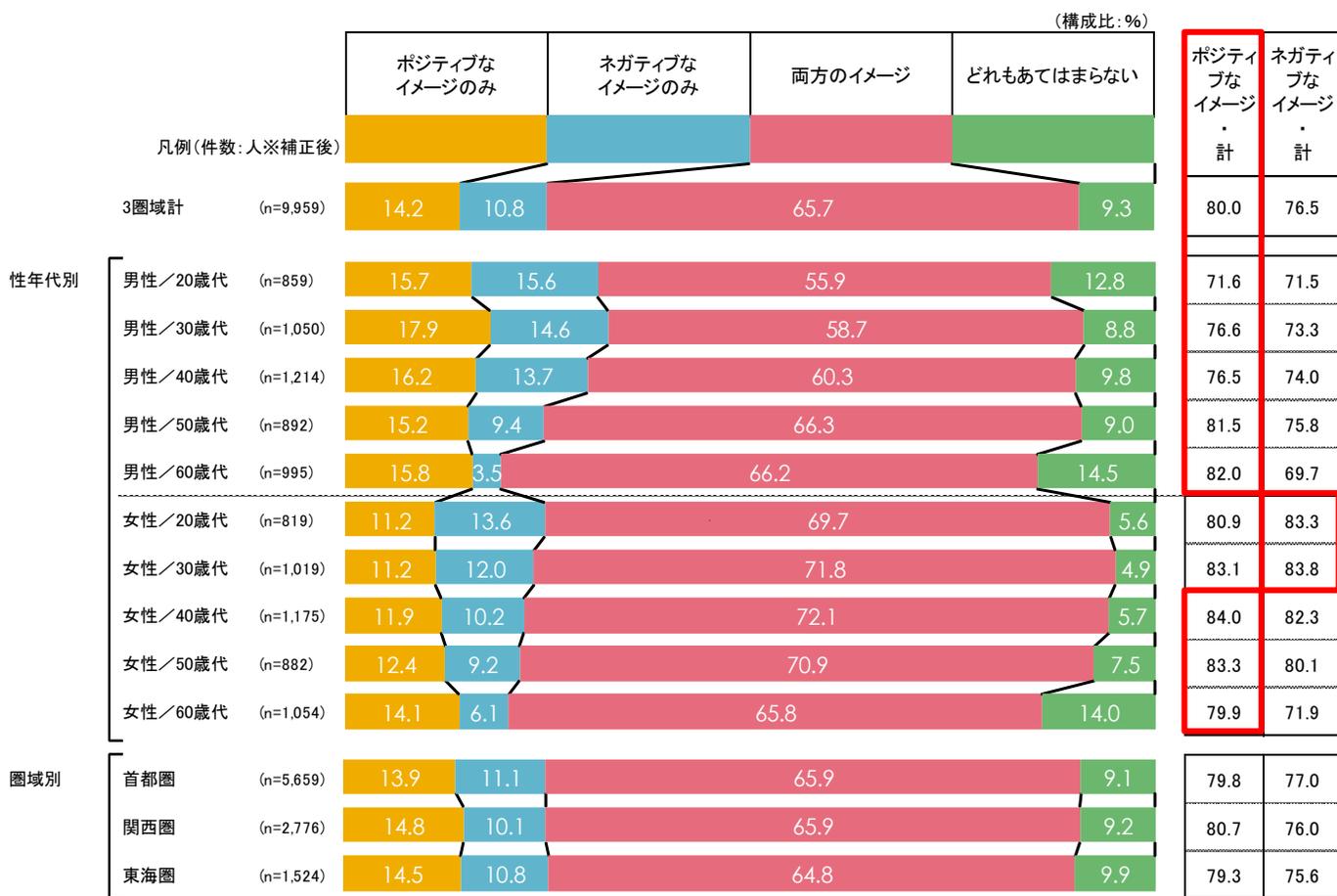
3圏域計より5ポイント以上低い項目

単位：構成比 (%)

2. 男性では全年代、女性は40代・50代・60代で「ポジティブ」なイメージが優勢

職場の飲み会について、ポジティブなイメージの選択肢とネガティブなイメージの選択肢をどのように選んだかをまとめたのが下の図表。一つ以上の選択肢を選んだ人の割合を出すと、多くの性年代でポジティブなイメージ・計がネガティブなイメージ・計よりも割合が高いという結果であった。傾向として、男性より女性でポジティブ・ネガティブ両方のイメージを選択した割合が高めだった。また、女性20代・30代だけが、ネガティブなイメージ・計がポジティブなイメージ・計を上回った。近年プライベートを重視する風潮が強いが、職場の飲み会にポジティブなイメージをする人がまだまだ多い、という結果であった。

■ 職場のメンバーとの飲み会についてのイメージ（全体／単一回答）



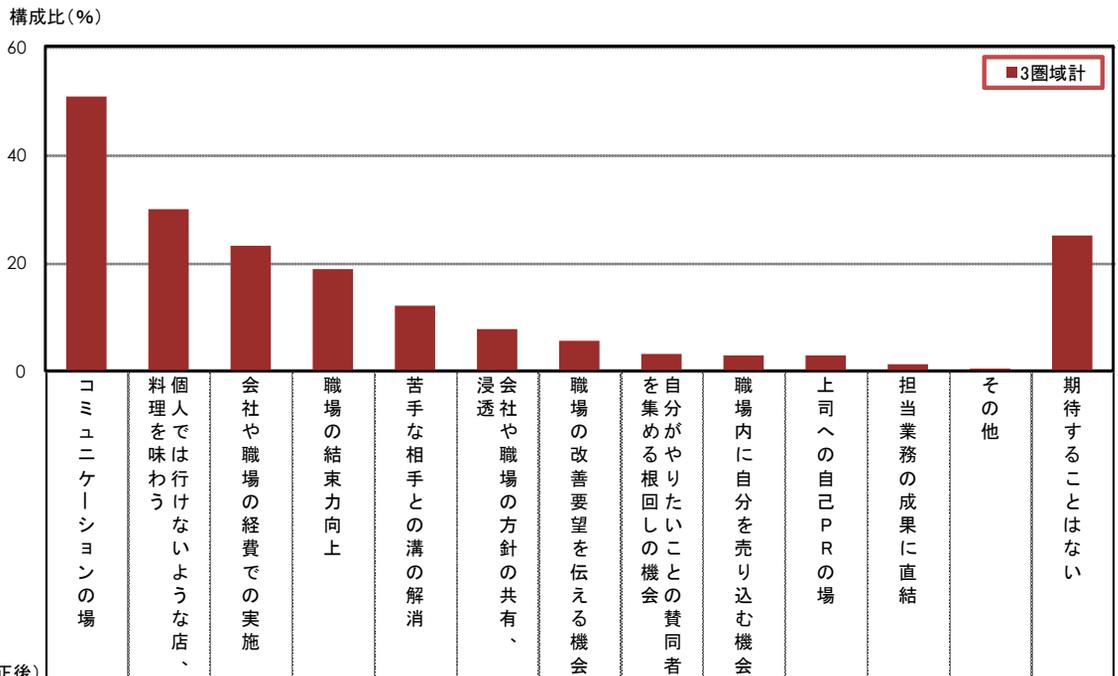
- ▶ポジティブなイメージのみ：職場のメンバーとの飲み会についてのイメージで、ポジティブなイメージのみを回答した人
- ▶ネガティブなイメージのみ：職場のメンバーとの飲み会についてのイメージで、ネガティブなイメージのみを回答した人
- ▶両方のイメージ：職場のメンバーとの飲み会についてのイメージで、ポジティブおよびネガティブなイメージの両方を回答した人
- ▶ポジティブなイメージ・計：職場のメンバーとの飲み会についてのイメージで、ポジティブなイメージを回答した人
- ▶ネガティブなイメージ・計：職場のメンバーとの飲み会についてのイメージで、ネガティブなイメージを回答した人

3. 期待すること1位は「コミュニケーション」。

女性は「個人では行けないような店、料理」「経費での実施」にも大きな期待

職場の飲み会に期待することについてのトップ3は、1位「コミュニケーションの場（50.7%）」、2位「個人では行けないような店、料理を味わう（30.0%）」、3位「会社や職場の経費での実施（23.1%）」だった。女性で「個人では行けないような店、料理を味わう」「会社や職場の経費での実施」が男性より全年代で高く、特に女性20代・30代では他の性年代を上回った。

■ 職場のメンバーとの飲み会に期待すること（全体／複数回答）



(件数:人※補正後)

	3圏域計	9,959	50.7	30.0	23.1	18.9	12.1	7.8	5.6	3.1	2.9	2.8	1.2	0.5	24.9
性年代別	男性／20歳代	859	45.2	29.3	23.8	16.2	11.5	9.2	5.2	4.7	4.9	5.0	1.9	0.4	29.4
	男性／30歳代	1,050	46.0	22.9	27.8	18.7	12.1	8.9	6.2	4.3	4.5	4.4	1.6	0.2	27.8
	男性／40歳代	1,214	49.4	24.0	22.3	22.9	11.1	9.5	7.7	4.6	2.2	2.8	1.0	0.4	26.7
	男性／50歳代	892	53.8	22.0	19.1	19.8	10.1	9.8	4.0	2.2	1.9	1.3	0.4	0.4	26.8
	男性／60歳代	995	53.4	22.6	12.5	25.0	12.3	9.4	6.1	4.1	2.1	1.6	1.9	1.3	26.8
	女性／20歳代	819	49.0	39.4	33.4	18.3	14.9	6.9	6.1	3.5	6.0	4.1	1.2	0.3	20.7
	女性／30歳代	1,019	54.6	36.2	29.5	17.6	11.9	6.8	5.5	2.7	3.7	3.3	2.0	0.2	21.4
	女性／40歳代	1,175	54.3	36.4	27.5	16.4	12.4	5.5	4.7	1.7	1.9	1.9	1.1	0.6	19.4
	女性／50歳代	882	54.4	35.4	20.5	17.2	11.0	5.9	3.6	1.4	1.8	1.7	0.8	0.3	23.1
	女性／60歳代	1,054	46.6	33.1	14.9	15.6	13.4	5.9	5.6	1.6	1.0	2.0	0.5	0.8	27.7
圏域別	首都圏	5,659	51.5	29.5	24.1	19.7	12.4	8.3	6.1	3.3	3.1	3.0	1.4	0.5	24.5
	関西圏	2,776	50.1	30.7	22.6	18.3	12.5	7.4	5.2	2.9	2.7	2.7	1.2	0.5	25.0
	東海圏	1,524	49.0	30.4	20.3	16.9	10.1	6.5	4.2	2.8	2.4	2.2	0.7	0.4	26.5

単位:構成比(%)

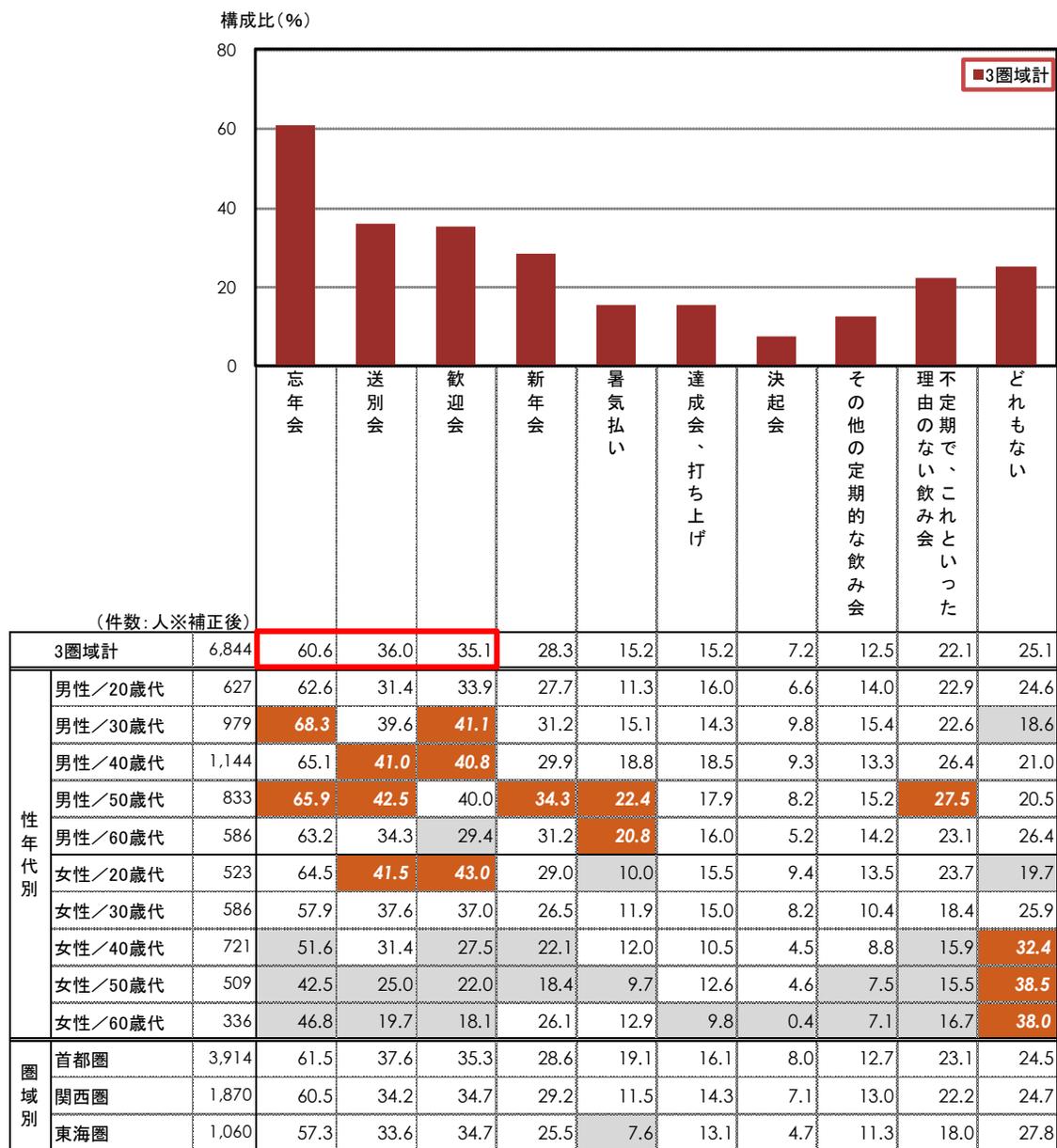
太字 3圏域計より5ポイント以上高い項目

■ 3圏域計より5ポイント以上低い項目

4. 過去1年の職場の飲み会実施割合、トップ3は「忘年会」「送別会」「歓迎会」

実際に働いている人に回答者を絞り、1年以内に実際に行われた職場の飲み会を聞いたところ、最多は「忘年会」で60.6%の実施率であった。次いで2位に「送別会」が36.0%、僅差で3位が「歓迎会」で35.1%であった。就業者に絞ったことで、回答者は男性のほうが多くなったが、これらの職場の飲み会の実施率においても、全体的には男性のほうが女性より高い傾向であった。女性40代～60代では「どれもない」の割合がやや高く、目立っている。女性が多い職場では、飲み会以外のコミュニケーション（食事会など）に比重が置かれているのかもしれない。

■ 過去1年以内におこなわれた職場の飲み会（就業している人／複数回答）



単位:構成比(%)

太字 3圏域計より5ポイント以上高い項目

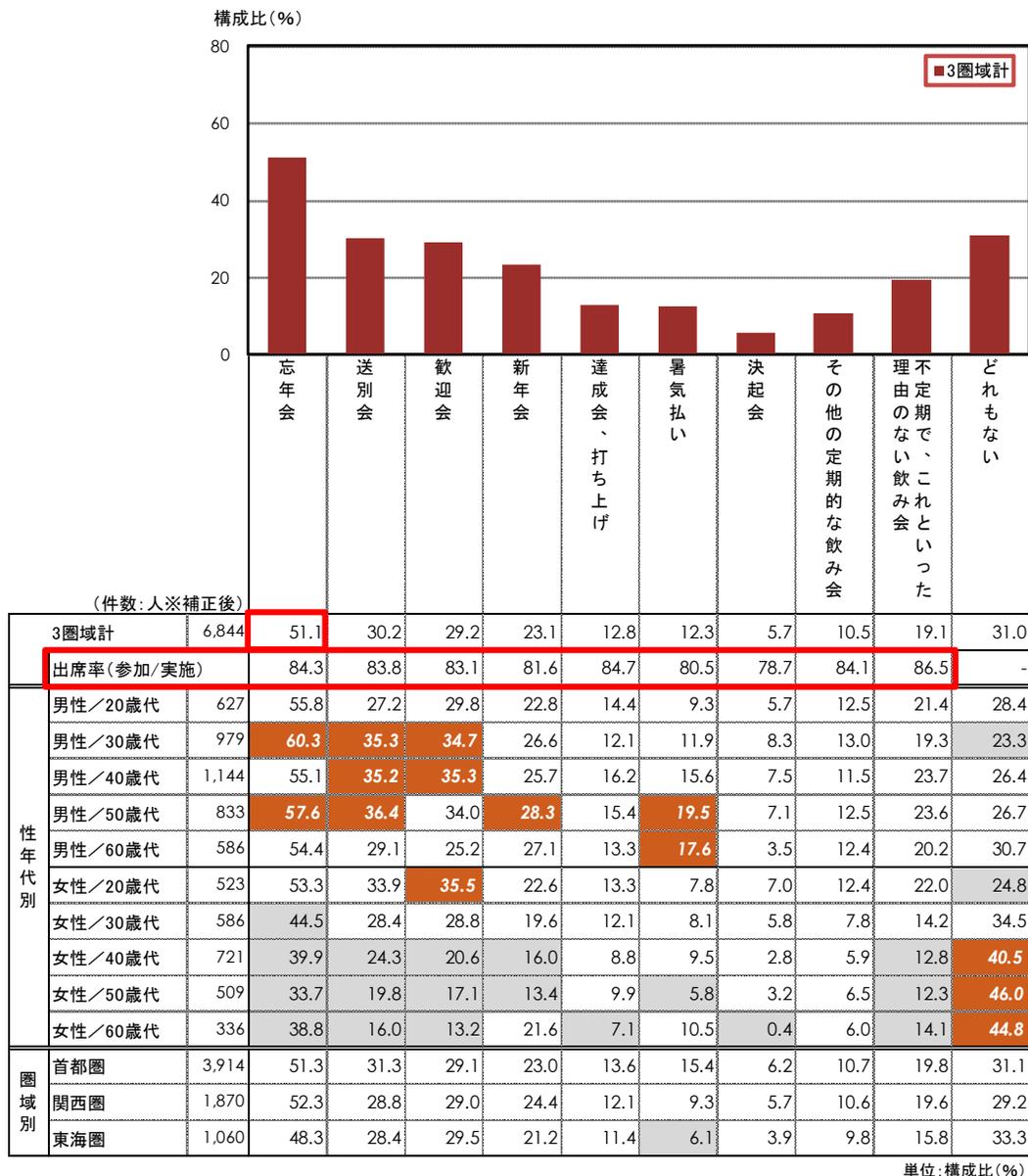
3圏域計より5ポイント以上低い項目

5. 参加割合でも「忘年会」が51.1%と過半数を獲得して最多。

出席率（参加実績／実施実績）では「不定期で、これといった理由のない飲み会」が最大

職場の飲み会への参加についても、最多は「忘年会」で51.1%と過半数であった。出席率（実施を分母に参加を分子に計算できる）は、「不定期で、これといった理由のない飲み会」（86.5%）が最多となるが、他の主要な飲み会も軒並み80%以上の参加率となる。会社宴会は近年減少傾向というデータが世の中一般的に言われている中で、参加率に関しては意外と高いと言えるのではないだろうか。

■ 過去1年以内に参加した職場の飲み会（就業している人／複数回答）



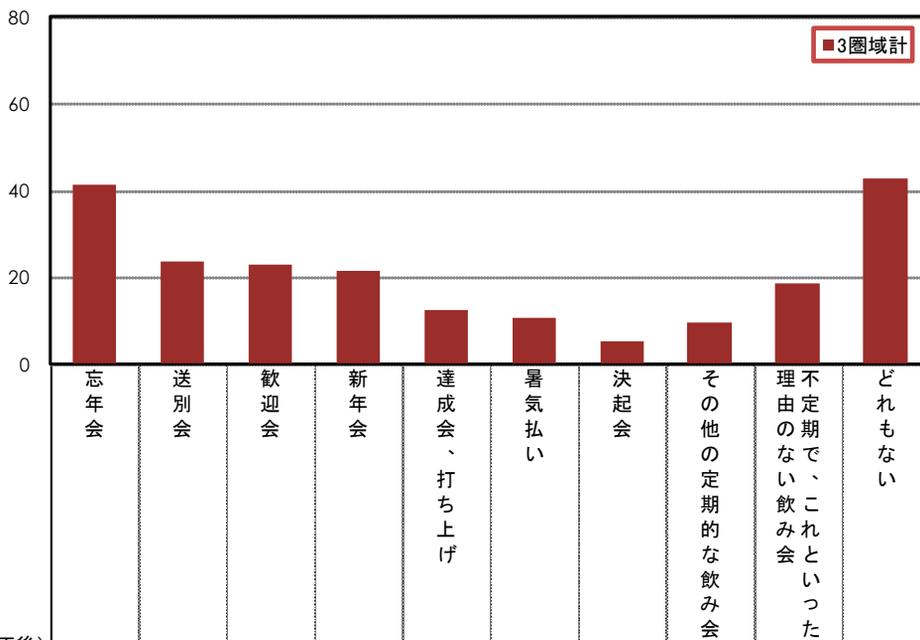
出席率（参加/実施）：「過去1年以内に参加した職場の飲み会」÷「過去1年以内におこなわれた職場の飲み会」で算出（過去1年以内にそれぞれの飲み会がおこなわれた人ベース）

6. 今後参加したい職場の飲み会も1位は「忘年会」。実施割合、参加割合と併せて3冠達成

今後参加したい職場の飲み会の1位も41.2%を獲得して「忘年会」。実施割合、参加割合と併せて3冠を達成した。職場の飲み会の代表格と言えそうだ。性年代の傾向を見てみると実施割合、参加割合と類似で全体的に男性のほうが女性より積極的な参加意向がある。逆に参加意向が低いのは、女性、特に40代以上だ。今後参加したい職場の飲み会は「どれもない」が約半数、ないし、過半数と目立っている。

■ 今後、参加したい職場の飲み会（就業している人／複数回答）

構成比(%)



(件数:人※補正後)

3圏域計		6,844	41.2	23.5	23.0	21.3	12.5	10.7	5.2	9.4	18.6	42.6
性年代別	男性／20歳代	627	44.2	22.8	24.6	21.5	14.5	8.1	6.1	10.1	19.2	40.0
	男性／30歳代	979	46.4	24.9	26.9	23.4	12.0	10.0	7.0	11.4	16.6	40.8
	男性／40歳代	1,144	43.0	28.5	28.5	22.9	16.6	13.5	7.3	12.2	23.8	41.1
	男性／50歳代	833	48.1	29.6	28.1	27.0	15.7	17.8	6.4	10.9	23.8	36.5
	男性／60歳代	586	45.7	20.7	19.1	24.5	10.8	15.3	3.3	10.7	20.6	38.0
	女性／20歳代	523	41.6	26.1	26.1	21.3	13.0	4.7	5.4	9.8	17.0	41.4
	女性／30歳代	586	37.3	22.5	22.0	18.3	11.0	6.8	4.4	7.0	14.1	45.3
	女性／40歳代	721	33.8	19.6	15.9	16.4	9.7	8.7	2.5	5.6	14.1	48.2
	女性／50歳代	509	28.5	15.4	12.9	14.5	7.5	7.0	2.9	5.5	14.6	51.3
	女性／60歳代	336	30.2	12.4	11.5	16.5	7.0	9.6	1.0	5.4	14.4	52.9
圏域別	首都圏	3,914	41.1	24.3	23.2	20.9	13.2	13.0	5.4	9.2	19.2	42.5
	関西圏	1,870	42.8	22.3	22.7	22.6	11.7	8.6	5.4	10.0	18.9	41.3
	東海圏	1,060	38.6	22.8	22.9	20.4	11.4	6.2	4.0	9.2	15.5	45.2

単位:構成比(%)

太字 3圏域計より5ポイント以上高い項目

グレー 3圏域計より5ポイント以上低い項目